【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2015-30099(P2015-30099A)
【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)
【年通号数】公開・登録公報2015-010
【出願番号】特願2013-158650(P2013-158650)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　11/70　(2006.01)
Ｇ０６Ｋ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　11/70
Ｇ０６Ｋ　17/00　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成28年3月28日(2016.3.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
媒体を処理する処理部と、
前記媒体を搬送方向へ搬送する搬送部と、
前記搬送部で搬送された前記媒体を排出する排出口と、
前記排出口から排出された前記媒体の前記搬送方向とは異なる方向の変位を検出する検出部と、
前記検出部での前記変位の検出に基づいて前記媒体を切断する切断部と、
前記搬送部での前記媒体の搬送を停止させた後、前記検出部での前記変位の検出を待機することを示す情報を生成する制御部と、
前記情報を送信する通信部と、
を備えることを特徴とする媒体処理装置。
【請求項２】
前記制御部は、前記情報を生成するときに、前記処理部での処理を停止させる請求項１に記載の媒体処理装置。
【請求項３】
前記制御部は、前記検出部の前記媒体の変位の検出に基づいて前記切断部が前記媒体を切断した時、前記媒体の変位の検出の待機が終了したことを示す第２の情報を生成し、
前記通信部は、前記第２の情報を送信する請求項１または２に記載の媒体処理装置。
【請求項４】
媒体の処理を指示する制御データを送信する制御装置と、
前記媒体を処理する処理部、前記媒体を搬送方向へ搬送する搬送部、前記搬送部で搬送された前記媒体を排出する排出口、前記排出口から排出された前記媒体の前記搬送方向とは異なる方向の変位を検出する検出部、前記検出部での前記変位の検出に基づいて前記媒体を切断する切断部、前記搬送部での前記媒体の搬送を停止させた後前記検出部での前記変位の検出を待機することを示す情報を生成する制御部、及び前記情報を前記制御装置に送信する通信部を有する媒体処理装置と、
を備えることを特徴とする媒体処理システム。

【請求項５】
前記媒体処理装置の前記制御部は、前記検出部の前記媒体の変位の検出に基づいて前記媒体を前記切断部が切断した時、前記媒体の変位の検出の待機が終了したことを示す第２の情報を生成し、
前記媒体処理装置の前記通信部は、前記第２の情報を前記制御装置へ送信する請求項４に記載の媒体処理システム。
【請求項６】
前記制御装置は、前記情報を受信した後、前記制御データの送信を停止する請求項４または５に記載の媒体処理システム。
【請求項７】
前記制御装置は、前記情報を受信した後、前記変位の検出の待機の解除を指示する解除データを送信し、
前記媒体処理装置の前記制御部は、前記解除データに基づいて、前記変位の検出の待機を解除する請求項４ないし６のいずれか１項に記載の媒体処理システム。
【請求項８】
媒体の処理を指示する制御データを受信し、
受信した前記制御データに基づいて、前記媒体を処理し、
前記媒体を処理した後、前記媒体の搬送方向への搬送を停止し、
前記媒体の搬送を停止したときに、前記搬送方向と異なる方向の変位の検出の待機を示す情報を生成して送信し、
前記媒体の変位を検出したときに、前記媒体を切断することを特徴とする媒体処理装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記目的を達成するために、本発明は、媒体処理装置であって、媒体を処理する処理部と、前記媒体を搬送方向へ搬送する搬送部と、前記搬送部で搬送された前記媒体を排出する排出口と、前記排出口から排出された前記媒体の前記搬送方向とは異なる方向の変位を検出する検出部と、前記検出部での前記変位の検出に基づいて前記媒体を切断する切断部と、前記搬送部での前記媒体の搬送を停止させた後、前記検出部での前記変位の検出を待機することを示す情報を生成する制御部と、前記情報を送信する通信部と、を備えることを特徴とする。
本発明の構成によれば、媒体が所定方向に変位するように動かされた場合に、媒体の切断が実行され、単票が発行される。このため、単票が自動で連続して発行され、そのことに起因して紙出口付近で単票が溜まることを防止できる。
また、上記構成によれば、媒体処理装置は、処理部により媒体を処理させ、搬送部による媒体の搬送を停止させた後、検出部での変位の検出を待機することを示す情報を生成し、当該情報を制御装置に送信する。このため、制御装置は、媒体処理装置が待機を開始したことを認識でき、当該認識に基づいて、対応する処理を実行可能である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、本発明は、前記制御部は、前記情報を生成するときに、前記処理部での処理を停止させる。

本発明の構成によれば、検出部での変位の検出の待機時に、処理部により媒体が処理されることが停止される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明は、前記制御部は、前記検出部の前記媒体の変位の検出に基づいて前記切断部が前記媒体を切断した時、前記媒体の変位の検出の待機が終了したことを示す第２の情報を生成し、前記通信部は、前記第２の情報を送信する。
本発明の構成によれば、制御装置は、媒体処理装置において、媒体の変位の検出の待機が終了したことを認識でき、当該認識に基づいて、対応する処理を実行可能である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、上記目的を達成するために、本発明は、媒体処理システムであって、媒体の処理を指示する制御データを送信する制御装置と、前記媒体を処理する処理部、前記媒体を搬送方向へ搬送する搬送部、前記搬送部で搬送された前記媒体を排出する排出口、前記排出口から排出された前記媒体の前記搬送方向とは異なる方向の変位を検出する検出部、前記検出部での前記変位の検出に基づいて前記媒体を切断する切断部、前記搬送部での前記媒体の搬送を停止させた後前記検出部での前記変位の検出を待機することを示す情報を生成する制御部、及び前記情報を前記制御装置に送信する通信部を有する媒体処理装置と、を備えることを特徴とする。
本発明の構成によれば、媒体処理装置は、処理部により媒体を処理させ、搬送部による媒体の搬送を停止させた後、検出部での変位の検出を待機することを示す情報を生成し、当該情報を制御装置に送信する。このため、制御装置は、媒体処理装置が待機を開始したことを認識でき、当該認識に基づいて、対応する処理を実行可能である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明は、前記媒体処理装置の前記制御部は、前記切断部で前記検出部の前記媒体の変位の検出に基づいて前記媒体を前記切断部が切断した時、前記媒体の変位の検出の待機が終了したことを示す第２の情報を生成し、前記媒体処理装置の前記通信部は、前記第２の情報を前記制御装置へ送信する。
本発明の構成によれば、制御装置は、媒体処理装置において、媒体の変位の検出の待機が終了したことを認識でき、当該認識に基づいて、対応する処理を実行可能である。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
また、上記目的を達成するために、本発明は、媒体の処理を指示する制御データを受信

し、受信した前記制御データに基づいて、前記媒体を処理し、前記媒体を処理した後、前記媒体の搬送方向への搬送を停止し、前記媒体の搬送を停止したときに、前記搬送方向と異なる方向の変位の検出の待機を示す情報を生成して送信し、前記媒体の変位を検出したときに、前記媒体を切断することを特徴とする。

この制御方法によれば、媒体処理装置は、処理部により媒体を処理させ、搬送部による媒体の搬送を停止させた後、検出部での変位の検出を待機することを示す情報を生成し、当該情報を制御装置に送信する。このため、制御装置は、媒体処理装置が待機を開始したことを認識でき、当該認識に基づいて、対応する処理を実行可能である。